

デジカメで撮影した写真を綺麗に拡大印刷するために

① カメラ・レンズ・モニターの汚れを拭いておく

デジカメのレンズやモニターは指紋やホコリ、雨粒等で汚れていることがあります。



⊘ 有機溶剤を含むクリーナーは絶対に使用禁止

【クリーニングクロス】

カメラ及びレンズを拭くのに使います。メガネ拭き等でもOKです。

【ブロアー】

本体やカメラ内部のホコリやゴミを吹き飛ばすのに使います。



⊘ 有機溶剤を含むクリーナーは絶対に使用禁止

クロスで軽く拭く。

* 皮脂やハンドクリームなどがレンズについたまま放置するとコーティングが剥がれやすくなりますので、早めに拭き取るようにします。

* ティッシュペーパーなどで強く拭くと傷がつくことがあります。



ブロアーでホコリなどを吹き飛ばす。

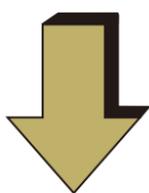


ブラシでホコリを払う

汚れを拭くと仕上がりに差がでます



拭く前



拭いた後

② 画像サイズは最大に設定

各種設定が必要

* カメラの機種により設定方法が異なりますので
説明書をご確認ください。

* 下記説明は Canon PowerShot SX280HS を使用

機能設定時の操作ボタンは 2 カ所。



【FUNC.SET】
(ファンクションキー)

【MENU】(メニューボタン)

* ④ 正面から撮影のグリッドを利用するにでてきます。



【FUNC.SET】 を押して
画素数 (画像の大きさ) 選択画面に。

最大サイズ【L】を選択。
(サイズは上段の 12M で表示)



下に行くほどサイズが小さくなる。
(サイズは上段の 6M で表示)





【FUNC.SET】を押して
圧縮率（画質） 選択画面に。

スーパーファイン【S】を選択。
(記録可能画像数は減るが
一時的に高画質を選択)



下に行くほど画像が悪くなる。
(高画質より上がないか確認し、
より高画質・最高画質を選択)



③ 明るい場所で

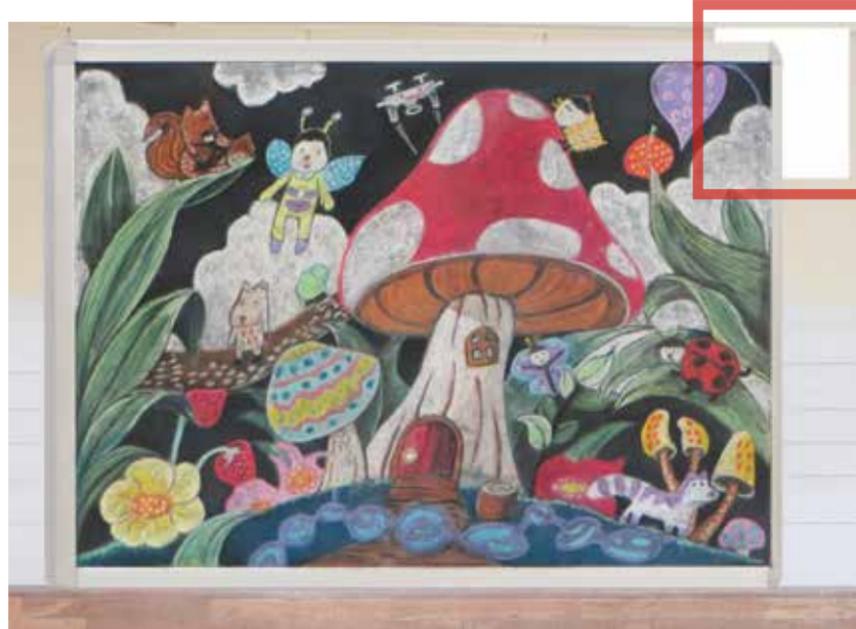
(フラッシュは基本オフ)

白い用紙（コピー用紙で可）を被写体の後ろに置いて撮影すると印刷出力時、色調整の目安になります。

屋外自然光での撮影



室内照明下での撮影



フラッシュはオフが基本



フラッシュを焚いて撮影

室内照明下で撮影した写真に比べ、フラッシュを焚いた写真は陰影が濃く原画の色味が損なわれています。又、暗い場所ではフラッシュの光が強過ぎて被写体全体が白くぼやけてしまうことがあります。

デジカメ撮影の場合スマホよりも、より詳細な設定ができる機種もありますので、一概にフラッシュを焚かない方がいいとも限りません。数枚入稿いただいても結構ですので、色々なパターンを試してみてもいかがでしょうか。

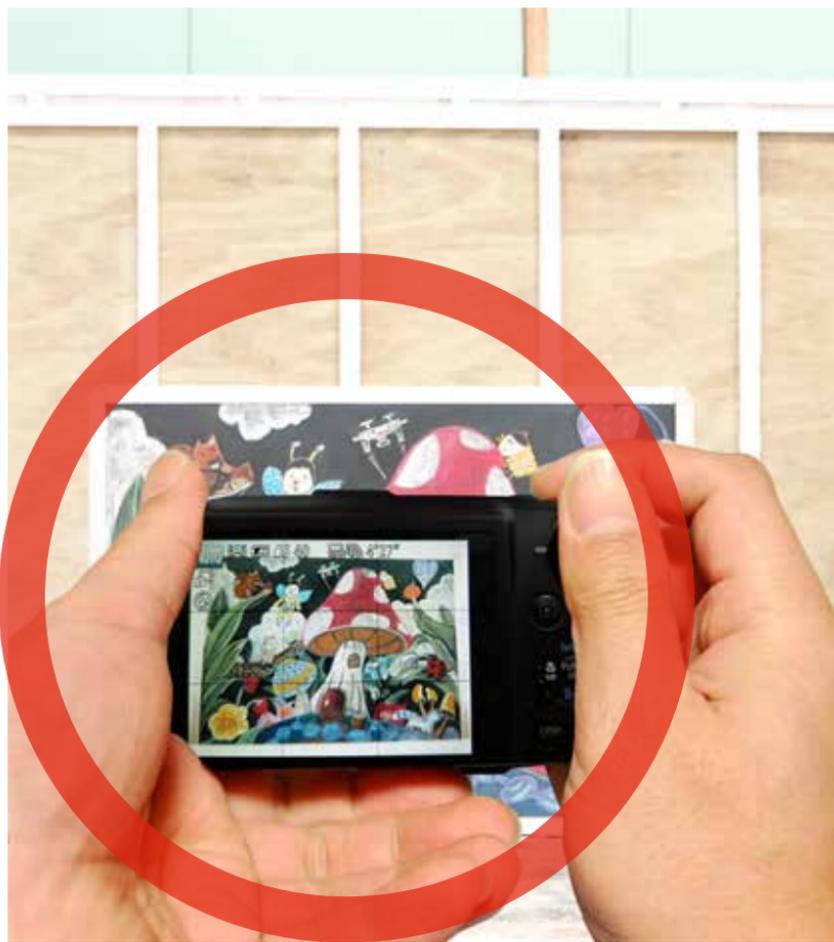
④ 正面から撮影



横から撮影されると垂直が出せません。



トリミング時アートが大幅に切れてしまいます。



画面を隠さないように両手でしっかりと持ち、真正面から高さを合わせて撮影します。

グリッドを利用する。

画面の中に水平・垂直の目印になるような物を目安にします。

カメラの設定の中に項目があります。
グリッド機能のない機種もあります。

カメラタブにする。



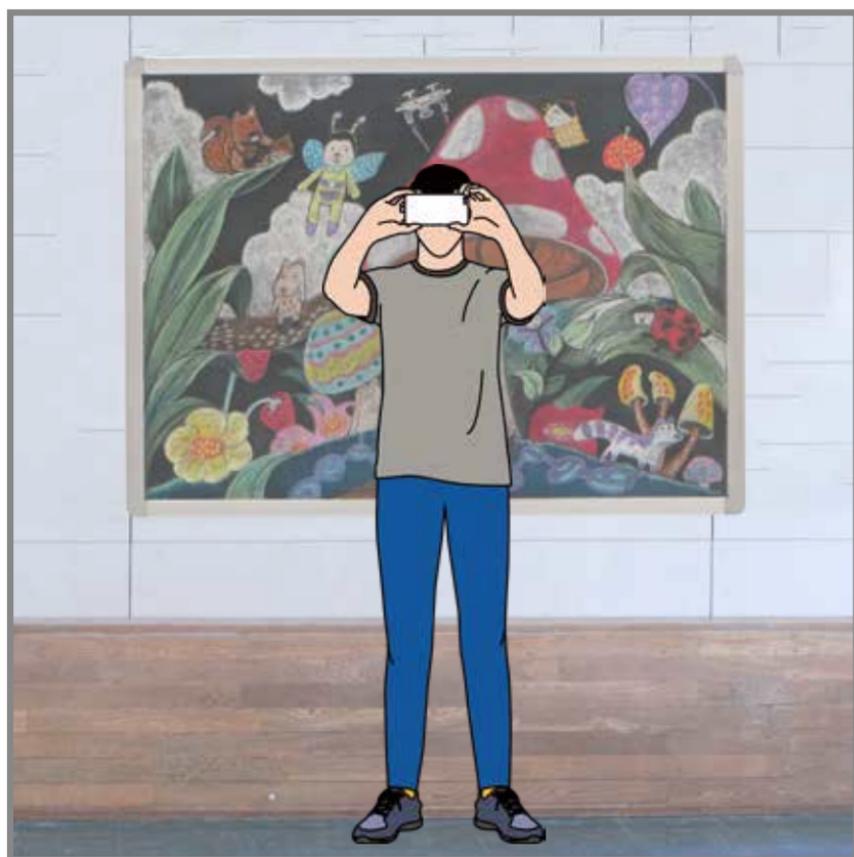
グリッドラインを
「入」にする。

【MENU】を押す

■ 視線は平行になるような姿勢をとります。



■ 不安定な姿勢にならないように気を付けてください。



■ 両脇をしめて両手でスマホ・カメラを固定します。

⑤ 画面いっぱい撮影 (ズームに注意)



- 基本は横位置で水平垂直を意識します。
- 最大限に引いた状態で全体像を撮影します。

むやみにズームを使うと画質が劣化する恐れがありますが、最近のデジカメには画質劣化の少ない電子ズーム等の機能もありますので、撮影環境に合わせて使用してみてください。